第21講　明治時代Ⅳ

1　政商資本と労働者の誕生

①日本資本主義の特質

A　自主的な発展でなく先進資本主義国の技術を導入・育成

B　**政府の保護・育成**により資本の原始的蓄積過程が急速に進行

☆官営事業とその払い下げ，軍事工業優先策。

C　発展の不均衡が顕著

☆小農経営・家内工業・中小企業の広範な存在。

D　**農村の窮乏と労働者の低賃金を背景に輸出依存度が高い。**

☆国内市場は狭いが，人件費などの生産コストが安い。

☆海外市場獲得のため，軍事力を背景に侵略に乗り出す。

---

②松方デフレ財政（1881年～86年ごろ）

A　デフレ政策による不換紙幣整理・正貨蓄積

デフレ政策が引き起こした深刻な不況により，自作農・中小地主が没落。

↓↓↓

あ　**寄生地主**

現物小作料の販売利益により企業を設立，または株式会社に投資。

い　**貧農**

労働者として，低賃金で労働力を提供（＝廉価商品の創出）。

☆購買力に乏しく，国内市場を狭める。

B　**軍事工業**・鉄道**を除く，官営事業の払い下げ**

三井・三菱（岩崎）・古河などの**政商資本を育成。**

☆優良鉱山の払い下げを受け，巻上機の導入などの機械化を進めて，石炭や銅の輸出を増やしていった。

C　意義

資本の原始的蓄積と低賃金労働者の創出＝**資本主義の前提が完成**

２　第１次産業革命（日清戦争前後）

①**企業勃興**（1886年～89年ごろ）

A　輸出超過傾向　　　　（1882年～86年）

B　**貨幣制度の安定**　　　**（1885年～，銀本位制の確立）**

C　**松方デフレの不況脱出（1886年～）**

↓↓↓

物価の安定・金利の低下により株式取引が活発化，産業界が活気づく。

↓↓↓

鉄道・紡績を中心に**会社設立ブーム**が起こる（1886年～89年）。

☆機械技術を本格的に用いる産業革命が日本でも始まった。

↓↓↓

1890年，株式への払込みが集中して金融機関の資金が不足したところへ，前年の凶作と生糸輸出の半減が加わり，ブームは挫折した（＝**1890年恐慌**）。

☆しかしこれを機に，日本銀行は普通銀行を通じ産業界に資金を供給する態勢を整えた。

---

②資本主義の成立（1900年ごろ，紡績業・製糸業中心）

日清戦争後，戦勝景気により再び企業勃興が生じ，紡績・製糸など繊維産業を中心に**資本主義**が本格的に成立した。

☆**1900年～01年**，綿花の輸入増にともなう正貨（せいか）減少を契機に，過剰生産・株式高騰（こうとう）の反動で**初の資本主義恐慌**が発生。企業の倒産や銀行の休業が相次（あいつ）ぎ，紡績業は操業時間短縮を余儀（よぎ）なくされた。

---

③貿易の拡大

A　貿易規模の拡大

第１次産業革命の進展にともない，貿易の規模は拡大。しかし，綿花などの原料品や機械類・鉄類などの重工業製品の輸入が増え，**大幅な輸入超過**となった。

あ　**輸出品**　**生糸**・絹織物，**綿糸**・綿織物など

い　**輸入品**　**綿花**・砂糖・米・**機械類**・鉄類など

B　**商社**の活動

益田孝（ますだたかし）社長の三井物産会社など。

☆列強に独占されていた貿易の実務を支える。

C　貿易金融の活発化

横浜正金（しょうきん）銀行（1880年設立，87年から特殊銀行）の活躍。

---

④軽工業の発達

A　**紡績業**

あ　生産技術の進歩

手紡（てつむぎ）

↓↓↓

ガラ紡（1873年，**臥雲辰致（がうんときむね／たっち）**が発明）

↓↓↓

機械紡績の登場（1880年代＝イギリス製ミュール紡績機）

☆**大阪紡績会社**（**1882年**，**渋沢栄一**らが設立〔翌年開業〕），鐘淵（かねがふち）紡績会社（東京府）など６大紡績会社の設立。

↓↓↓

機械紡績の発展（1890年代＝アメリカ製リング紡績機）

い　生産の増大

1890年　**綿糸生産量が輸入量を上回る**

1893年　日本郵船会社が**ボンベイ〔インド〕航路**を開設

☆安価なインド綿花の輸入のため。

1894年　綿糸輸出関税免除法

1896年　綿花輸入関税免除法

1897年　**綿糸輸出量が輸入量を上回る**

☆中国・朝鮮への輸出が急増。

☆綿花の輸入(中国・インド・アメリカなど)が増大，綿業貿易の輸入超過傾向は激化。

B　綿織物業

幕末以来衰退していたが，農村の問屋制家内工業を中心に次第に復興。

☆1733 年にイギリス人ジョン=ケイが発明し，1873 年のウィーン万博を機に紹介された飛び杼(ひ)を採用し，従来の手織機(ておりばた)を改良。

C　**製糸業**

幕末以来欧米向け輸出産業として急速に発達した，日本の最大の外貨獲得手段。

☆紡績業の原料となる綿花や紡績機械の輸入に必要な外貨を獲得。

☆1894 年，輸入機械に学び在来技術を改良した**器械製糸**の生産量が，幕末に普及した**座繰(ざぐり)製糸**の生産量を上回る。

D　絹織物業

羽二重(はぶたえ)生産がさかんになり，力織機(りきしょっき)も導入された。

---

⑤鉄道の発達

A　**民営**

1881 年　日本鉄道会社設立

☆第十五銀行〔華族銀行〕を中心に設立された，**日本最初の私鉄会社**。政府の保護を受けて成功。

☆上野～高崎間(1884 年)，上野～青森間(1891 年)を全通させる。

1889 年　営業キロ数で民営鉄道が官営鉄道をしのぐ

☆商人や地主による会社設立ブーム(1886 年～89 年)の結果。

1892 年　鉄道敷設(ふせつ)法

☆山陽鉄道・九州鉄道など民営鉄道も幹線の建設を進め，日清戦争後には青森～下関間が連絡された。

B　**官営**

1889 年　東海道線全通(東京～神戸間)

---

⑥海運の発達

A　**日本郵船会社**（1885年設立）が新航路を開設，貿易発展の条件を整える。

1893年　**ボンベイ〔インド〕航路**

☆わが国初の遠洋定期航路。

1896年　ヨーロッパ・アメリカ・オーストラリア航路

☆その他の海運会社として，東洋汽船会社などがある。

B　政府の奨励策

1896年　航海奨励法・造船奨励法

☆日清戦争における商船の功労に報いる。

☆外貨節約と戦時の軍用船確保をはかる。

---

⑦金本位制の確立

日清戦争の賠償金を基礎とする**戦後経営**。

A　財政の膨張（ぼうちょう）と軍備拡大政策

B　金融・貿易面からの産業振興政策

あ　**貨幣法**（**1897年＝金本位制の確立**，１円＝金0.75ｇ）

銀価格の低落が目立ち，世界の大勢（たいせい）も金本位に傾いていたため，**第二次松方正義内閣**が施行。

☆欧米諸国にならい金本位制を採ることで金銀相場変動の影響を失くし，貿易を発展させようとした。

い　**特殊銀行**の設立

1887年　横浜正金（しょうきん）銀行⇒80年設立，この年特殊銀行化

☆外国貿易金融専門の銀行。

1897年　日本勧業銀行

☆農業・工業の改良・発展を目的とした長期融資を行う。

1898年～各府県の農工銀行

☆地主層に資金を低利で長期間貸し付けた。のち日本勧業銀行に合併。

1899年　**台湾銀行**

☆植民地台湾の中央銀行。

1902年　日本興業銀行

☆長期・大口の産業資金の需要に応じることを目的とする。

1911年　**朝鮮銀行**

☆植民地朝鮮の中央銀行。

---

⑧重工業の勃興

日清戦争の賠償金を利用，官営の軍需工業中心。

1897年　官営八幡製鉄所設立

☆ドイツの技術を背景とし，農商務省が北九州に建設。

1901年　官営八幡製鉄所操業開始

☆**清（のち中華民国）の大冶鉄山から鉄鉱石を輸入**。石炭は福岡県の**筑豊炭田**（のち満洲の撫順炭田も）を利用。

☆技術的な困難に悩まされながらも，日露戦争のころには生産を軌道に乗せた。

３　第２次産業革命（日露戦争前後）

①綿織物業の躍進

日露戦争後の大紡績会社の兼営や輸入大型力織機（りきしょっき）の活躍による。

A　販売組合を結成し朝鮮・満洲市場への進出を強める

B　**豊田佐吉**（とよださきち）**がわが国初の国産力織機**を考案（1897年）

☆おもに手織機（ておりばた）により問屋制家内工業生産が行われていた農村部において，小型力織機を導入し小工場への転換が進行。

---

②繊維（せんい）製品輸出の伸張

アジア市場へ進出（朝鮮・中国〔とくに満洲〕に依存）。

1909年　綿織物の輸出額が輸入額を超える　　　　（アジア向け）

生糸輸出量が清国を抜いて世界最大となる（アメリカ向け）

---

③貿易の拡大

A　貿易額の急増（1897年＝3.8億円⇒1912年＝11.5億円）

繊維工業製品の輸出と綿花の輸入（中国・インド・アメリカから）が激増

B　アジア市場への進出

あ　朝鮮

綿織物の移出・米の移入

い　台湾

米や砂糖の移入

う　満洲

綿織物の輸出・**大豆粕**（だいずかす）の輸入

C　貿易収支の悪化（危機的状況）

あ　慢性的な輸入超過（輸出超過は1906年・09年のみ）

☆生糸・綿織物などの輸出が増加したものの，綿花や軍需品・重工業資材の輸入が増加したため。

い　巨額な外国債の利払いに追われる（増税で対応）

---

④重工業の発達

官営の軍事工業と民間の造船業が牽引(けんいん)。

A　**電力事業**

水力発電が本格化し大都市では電灯が普及。

B　鉄鋼業

1906年　官営八幡製鉄所の大拡張

1907年　**日本製鋼所**の設立

☆海軍の援助を背景に，三井とイギリスのアームストロング・ヴィッカース両社の提携で北海道室蘭(むろらん)に設立された，**民間**の兵器製鋼会社。

C　造船業

日露戦争後に造船・造艦技術は世界的水準に達する。

☆**三菱長崎造船所（長崎県）**・川崎造船所（兵庫県）など。

D　工作機械業

池貝(いけがい)鉄工所（東京府）がアメリカ式旋盤(せんばん)と同等の精度をもつ旋盤の国産化に成功。

☆しかし大半の工作機械は欧米からの輸入に頼った。

E　電気機械業

芝浦製作所（東京府）など。

---

⑤鉄道の発達

1906年，全国鉄道網の統一的管理をめざす**鉄道国有法**により，民間の主要幹線17社を買収（**第一次西園寺公望内閣**）。

☆経済界の不況や**軍事的な配慮から**，鉄道の全延長約90％を国有化。

☆鉄道国有化で得た資金を重工業へ投じた資本家も多かった。

４　財閥の形成

①財閥

一族の独占的出資による資本を基礎に，**持株会社**を中心に結合した巨大コンツェルン。

---

②成立

A　産業革命の進展による大資本家の創出

☆政府から極めて厚い保護を受ける。

B　資本主義の進展による資本の集中

☆1900年恐慌〔資本主義恐慌〕，1907〔明治40〕年恐慌〔日露戦後恐慌〕を経て資本が集中。

---

③種類

A　**四大財閥⇒持株会社**を本社として発展

あ　**三井財閥⇒三井合名会社**（1909年設立）が中心

江戸時代，**三井高利**（たかとし）が創始した越後屋呉服店・三井両替店が発展。はじめ**井上馨**（かおる），のち**立憲政友会**と結んだ**最大の財閥**。金融・軽工業・商業部門を中心に多岐にわたり発展。

い　**三菱財閥⇒三菱合資会社**が中心

創始者は土佐藩出身の**岩崎弥太郎**。はじめ**大隈重信（立憲改進党・進歩党）**，のち**憲政会〔立憲民政党〕**と結ぶ。海運・鉱業部門を中心に多岐にわたり発展。

う　**住友財閥⇒住友総本店〔のち住友合資会社〕**が中心

江戸時代より別子銅山（伊予（いよ）国）を経営する住友家〔泉屋（いずみや）〕が発展。鉱業・金融部門を中心に発展。

え　**安田財閥⇒安田保善社**が中心

創始者は幕末の両替商であった**安田善次郎**，保険・金融部門中心に発展。

B　その他の財閥

あ　**古河財閥**（創始者＝**古河市兵衛**）

足尾銅山（栃木県）など鉱山業を中心に発展。

い　**浅野財閥**（創始者＝**浅野総一郎**）

セメント製造業を中心に発展。のち京浜工業地帯を造成。

う　川崎財閥（創始者＝川崎正蔵）

川崎造船所（兵庫県）など重工業中心に発展。

え　大倉財閥（創始者＝大倉喜八郎）

土木鉱業部門を中心に発展。

５　農業の停滞

①米作中心の零細経営

　大豆粕などの金肥の普及や**品種改良**（1893年設置の農事試験場など）により，単位面積当たりの収穫量は増加。

☆しかし，都市人口の増加により米の供給量は不足がち。

---

②商品作物の変化

　安価な輸入品に押され，綿・麻・菜種・藍・大豆などの生産は衰退。

↓↓↓

　産業革命の進展にともなう生糸輸出の増加に刺激され，桑の栽培や養蚕は隆盛。

☆明治末期には全農家の３分の１が養蚕を副業としていたので，とくに**アメリカ**での生糸価格の動きが，日本の農村経済に多大な影響を与えるようになった。

---

③小作地率の増大（明治末期には約45％を占める）

　寄生地主と資本主義との結合が強まる。

☆高率の現物小作料を元手に企業を設立。または国債や株式に投資。

☆日本勧業銀行・各府県の農工銀行による資金供給が，地主の経済力を強めた。

---

④政府による農民の組織化

1899年　農会法

　　☆農業の発達・改良をはかる農会に補助金を交付。

1900年　産業組合法

　　☆産業組合の設立を促す。

1909年～**地方改良運動**

　　☆協同事業に成功した村を模範村としてその事例を全国に紹介した。

1910年　帝国農会の設立

---

⑤下層農民の生活

小作農へ転落，子女の出稼ぎ(口減らしのため)や副業で辛うじて家計を補填。
☆都市にも大量に流入。**貧民窟**〔スラム〕に住みつき，日露戦争前後に社会問題化。

６　社会運動の発生

①低賃金労働者の増加

A　男性

1890年代以降，産業革命の進展とともに，農村で生活できなくなった貧農の二男以下が東京･大阪などの大都市へ流入し，貧民窟〔スラム〕を形成。

☆重工業，工場外労働（鉱山・運輸・造船・通信など）に従事。

B　女子

繊維工業に集中（家計補助のための出稼ぎ）。

---

②労働問題の発生

労働者は，成立したばかりの資本主義のもとで低賃金・長時間労働を強いられた。

A　**女工〔工女〕**の虐待（ぎゃくたい）

貧農出身の若い女子が低賃金で雇われ，みじめな食事と不潔な寄宿舎のため結核などの病気にかかる者も多かった。

あ　紡績業

12～16時間の昼夜２交替制，低賃金。

☆**細井和喜蔵**（ほそいわきぞう）『**女工哀史**（じょこうあいし）』(1925年)

い　製糸業

14～18時間労働，低賃金。

☆工女節（ぶし）「男軍人女は工女，糸をひくのも国のため」

☆**山本茂実**（しげみ）『**あゝ野麦峠**』(1968年)

B　坑夫の虐待

鉱山や土木工事の現場には，労働者を拘禁（こうきん）し労働を強制する納屋（なや）制度〔飯場（はんば）制度〕が存在し，ときには囚人労働が使用されることもあった。

高島炭鉱問題(1888年)

☆三宅雪嶺（せつれい）らの政教社が雑誌『日本人』で劣悪（れつあく）な労働環境を発表，政府も経営者である**三菱**に待遇（たいぐう）改善を勧告。

C　実情の調査

あ　**日本之（の）下層社会**(1899年，**横山源之助**（げんのすけ）)

労働者・小作人の実態を調査し，産業革命期の矛盾（むじゅん）を指摘した。

い　**職工事情**（しょっこう）　(1903年，**農商務省**)

工場法(1911年制定)立案の基礎資料となる。

---

③組織的労働運動の発生と発展

A　**ストライキ**の発生

あ　**甲府雨宮製糸工女スト**（1886年，**初のストライキ**）

い　大阪天満紡績工女スト（1889年，94年）

B　**職工義友会（1897年）**⇒同年，**労働組合期成会**に改組（～1901年）

1897年にストライキは全国40件余り発生していた。

あ　アメリカの労働運動の影響を受けた**高野房太郎・片山潜**らが結成

☆労働組合の指導組織。

い　共済活動に重点を置き労資協調的

う　鉄工組合・日本鉄道矯正会などが結成される

え　機関紙の『**労働世界**』は初の労働組合雑誌

C　**足尾銅山鉱毒事件**（1891年～**初の公害事件**）

幕末に廃鉱同然であった銅山を**古河市兵衛**が買い取り，飛躍的に発展させていた。

あ　**渡良瀬川**流域の農漁業に大被害

い　**栃木県**選出の代議士**田中正造**が操業停止を訴える

☆木下尚江・幸徳秋水らの知識人とともに世論の喚起に努め，1901年に議員を辞職，天皇にも直訴を試みる。

う　谷中村の廃村と遊水池の設置で決着（1907年）

D　**小作争議**の増加

小作人組合が結成されはじめる。

E　**治安警察法　（1900年，第二次山県有朋内閣）**

第５条で女性の政治参加を規制。第17条で労働者の団結権・ストライキ権を制限。

F　**工場法の制定（1911年，第二次桂太郎内閣）**

あ　**15人以上を使用する工場のみに適用**，12歳未満の年少者の就労を禁止。

い　15歳未満の年少者及び女子の就業時間は12時間を限度とし，深夜業は禁止。

う　製糸業での14時間労働や，紡績業での深夜業を認めるなどの例外規定が多い極めて不備な法であった。

G　**工場法の施行（1916年，第二次大隈重信内閣）**

資本家の反対で，この年まで施行が延期されていた。

④その他の社会運動

A　廃娼運動

東京婦人矯風会の結成（1886年，矢島楫子ら）

☆のち日本キリスト教婦人矯風会に発展。

B　慈善事業

救世軍の結成　　　　（1895年，山室軍平ら）

---

⑤社会主義運動

1897年　社会問題研究会

1898年　**社会主義研究会**

☆**安部磯雄・片山潜・幸徳秋水・木下尚江**ら。

1900年　社会主義協会

☆社会主義研究会を改称，改組。

1901年　社会民主党⇒初の社会主義政党（非合法）

☆安部磯雄・片山潜・幸徳秋水・木下尚江・河上清・西川光二郎らが結成。

☆**第四次伊藤博文内閣**は，治安警察法により**直後に結社禁止**を命じた。

1903年　平民社

☆新聞『万朝報』を退社した**幸徳秋水・堺利彦**らが結成。

☆**週刊『平民新聞』**を発行，**反戦論**を展開。

1906年　日本社会党⇒日本初の合法的社会主義政党

☆堺利彦・片山潜らが結成，日刊『平民新聞』を発行。

☆1907年，**議会政策派**（片山潜ら）と**直接行動派**（アメリカから帰国したした幸徳秋水ら）が対立。後者が優位になると**第一次西園寺公望内閣**は，治安警察法により結社禁止を命じた。

---

⑥社会主義運動の弾圧

1908年　**赤旗(あかはた)事件**

☆堺利彦・山川均(ひとし)・荒畑寒村(あらはたかんそん)・大杉栄(さかえ)らの直接行動派を逮捕。

☆**第一次西園寺公望内閣**は責任を取り総辞職。

1910年　大逆(たいぎゃく)事件

☆**第二次桂太郎内閣**が，天皇暗殺計画の容疑で**社会主義者・無政府主義者**26名を大逆罪で起訴(きそ)。

☆翌年，全員が有罪判決を受け**幸徳秋水**・管野(かんの)スガら12名が死刑となる。

☆**石川啄木(たくぼく)**は『**時代閉塞(へいそく)の現状**』，永井荷風(かふう)は『花火』を著し政府を批判。

1911年　大逆事件の判決

☆警視庁内に**特別高等課〔特高〕**とよばれる思想警察を設置。以後，社会主義運動は“**冬の時代**”に突入。

〈***Note***〉

第21講　確認問題

1　松方デフレ財政がスタートした年とは？

①1877年　②1881年　③1885年　④1889年

2　1883年に開業した，昼夜２交代制24時間操業の民間工場とは？

①富岡製糸場　②新町紡績所　③千住製絨所　④大阪紡績会社

3　綿糸生産量が輸入量を上回った年とは？

①1882年　②1890年　③1894年　④1897年

4　1893年，ボンベイ〔インド航路〕を開設した会社とは？

①九十九商会　②共同運輸会社　③日本郵船会社　④東洋汽船会社

5　1897年，貨幣法を発して金本位制を確立した内閣は？

①第二次松方正義内閣　②第三次伊藤博文内閣
③第一次大隈重信内閣　④第二次山県有朋内閣

6　1901年に操業開始となった官営八幡製鉄所は，おもにどこの石炭を利用していたか？

①高島炭鉱　②三池炭鉱　③筑豊炭田　④花岡鉱山

7　アメリカ式旋盤と同等の精度をもつ旋盤の国産化に成功した企業とは？

①日本製鋼所　②池貝鉄工所　③芝浦製作所　④鞍山製鉄所

8　「三大財閥」として不適切なものを一つ選べ。

①三井財閥　②三菱財閥　③住友財閥　④安田財閥

9　1899年に『日本之下層社会』を著したジャーナリストとは？

①前田正名　②三宅雪嶺　③横山源之助　④安部磯雄

10　1903年に『職工事情』を編纂した省とは？

①工部省　②内務省　③農商務省　④大蔵省

11　労働組合期成会が結成された年は？

①1886年　②1897年　③1900年　④1911年

12　1901年に結成された初の社会主義政党（非合法）とは？

①社会主義研究会　②社会民主党　③日本社会党　④労働農民党

解答

1	②	2	④	3	②	4	③	5	①
6	③	7	②	8	④	9	③	10	③
11	②	12	②						